



白子中だより

令和7年9月1日

第6号

鈴鹿市立白子中学校

2学期が始まりました。元気に登校する生徒たちは1学期よりも少し大きくなったように思います。体の成長だけでなく、心もたくましく育ったのだと思います。一番長い2学期には文化祭・合唱コンクールという学級の仲間の絆を深める行事もあります。2年生は職場体験学習を楽しみにしていることでしょう。一方で、3年生はこの学期末にはいよいよ進路を選択することとなります。それぞれが充実した時間を過ごせるようにと願っています。

◆◆これからの授業◆◆

授業というと、子どもたちが教員の話の聞いたり、手を挙げて質問に答えたり、黒板に書かれたものをノートに写したりする、というイメージがわくのではないのでしょうか。こうした教員が主導しみんなが一斉に同じように取り組む授業は、多くの知識を得るためには大変効率のよい手法と言えます。しかし、今、それだけではなく、時代が移り変わっていく中で自分のペースによる学びや、子どもたちが協働して学ぶことが重要だと言われています。教員が教えるだけではなく、子どもたちが課題に対して、自分にあったやり方で学びを進めていく「子どもが主体となる授業」を本校もめざしています。

例えば、何かを調べる時に教科書や資料を使ってもいいし、タブレットを使ってもいい、一人で調べてもいいし、誰かと調べてもいい、というような選択できるイメージです。教室では、固定された席を離れても課題の解決に向けて学習を進めていく姿が見られます。一見すると休み時間のようにも見えますが、子どもたちは仲間と対話をしながら自ら課題に向かっています。教員は支援が必要な子どもには個別に説明を繰り返します。あるいは、様々な気づきを得られるように子ども同士で協力するよう働きかけます。事前には子どもたちが課題を解決できるような様々な準備を整えておきます。

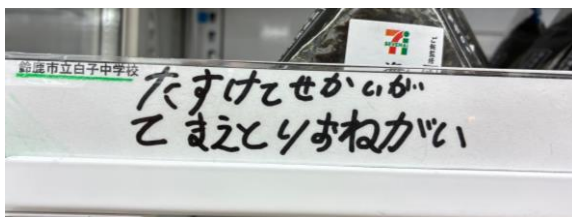
教員にとっても新たなチャレンジとなる授業の形なので今後も研究を進めていきます。先進校に学びに行ったり、校内の研修を進めたりしたいと考えています。そして、前回の通信でお知らせしたとおり、「自分で考え自分から取り組む」「話し合いで考えが深まり、新たな気づきを得る」「学んだことを生かして自分の考えをまとめる」等の活動を増やすことで、子どもが主体となる授業をつくっていきたいと考えています。



◆◆セブンイレブン出前授業◆◆

7月9日（水）特別支援学級でセブンイレブンから講師をお招きして出前授業を開催しました。食品ロスの問題などを取り上げた内容で、セブンイレブンの取組の紹介もありました。授業を受けた生徒たちは、消費期限の近いものを購入して食品ロスを防ぐ「手前どり」を呼びかけるためのポップを作成しました。写真は生徒たちが作ったポップが実際に校区のセブンイレブンの店内で飾られているところです。他にもたくさんの生徒作品が飾られていました。

地球を守るために自分たちができることを考えるよい機会となりました。2学期からの給食も残さず食べられると環境に優しいですね。



◆◆ビブリオバトル◆◆

7月17日（木）1年生は三重県教育委員会の方をお招きしてビブリオバトルについて学びました。ビブリオバトルとは「おススメの本」を紹介し合うゲームです。紹介を聞いてどの本が一番読みたくなったかを投票し、「チャンプ本」を決めるものです。説明の最後には、実際に県教育委員会の方と本校国語科の森本教諭と3人でビブリオバトルをしてもらい、大変盛り上がりしました。今後、1年生のみなさんにも体験してもらう予定です。

鈴鹿市や三重県では中学生が参加できるビブリオバトルが開催されます。この学びを生かして、バトルに参加してくれる生徒が出ることを期待しています。



